

鈴木桂治さん（柔道100キロ超級）

いつも通り、
勝つことだけを考えて

オリンピックが近づいてきて多少の緊張はありますが、気分的にはいつもとあまり変わりません。稽古に入れば集中でき、それ以外のときは柔道のことを忘れてリラックスできるという、とても良い状態にあります。子どものころ、スポーツをやっていたけれど、誰でも「オリンピックに出てみたい」と思うのではないのでしょうか。僕もその一人でしたから、ついに夢が叶ったのです。通常の大会と変わることなく、試合に勝つことだけをアテネではめざしています。

出場する100キロ超級は体重の上限がありません。いま僕は108キロくらいで、おそらくこの階級では小さいほうだと思います。自分より大きな選手と戦うわけですが、それを楽しみ、その結果、自分が勝ち、見ているみなさんに喜んでもらえればうれしいですね。

プロフィール

1980年6月3日生まれ。昨年の世界選手権での無差別級優勝をはじめ輝かしい戦歴を誇る。今年4月の全日本選手権大会の決勝で、シドニー五輪金メダリスト・井上康生を下して初優勝。アテネ五輪100キロ超級代表の座を勝ち取った。得意技は大外刈り、内股。段位は4段。組手は左、平成審判1所属。国士舘大学大学院に在学中。184センチ、108キロ。



見ている人に 熱いもの伝えたい

酒井與恵さん（サッカー女子）

初めての出場なので、とてもうれしく思っています。小学校3年でサッカーを始めましたが、小学校の卒業文集に「オリンピックに出たい」と書いています。女子サッカーがまだオリンピックの正式種目でもない時期なのに…。それくらい自分にとってはオリンピックは憧れの存在だったんです。

でも、オリンピックへの出場だけで満足することなく、今回は、チーム一丸となってメダル獲得をめざします。4月の試合では、たくさんのお客さんの声援に鳥肌が立ちました。あのような、見ている人に何か熱いものを伝えられる試合をアテネでもしたいですね。ケガに気を付けてがんばりたいと思います。

プロフィール

1978年5月27日生まれ。小学3年生でサッカーを始め、中学1年で日テレ・メニーナ（ファーム）中学3年で日テレ・ベレーザへ。'97年、日本代表に初選出以来、日本代表の常連に。'99・'03年、女子ワールドカップに出場。1リーグで、7年連続ベストイレブン、2年連続最優秀選手に選出され、チームと代表に欠かせないMFとなっている。158センチ、48キロ。



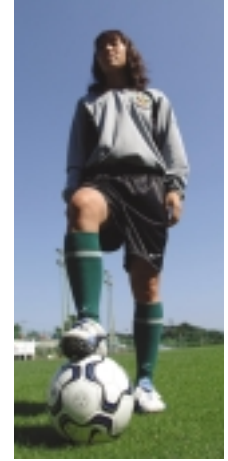
なにがなんでも 勝ちたいという 戦いぶりを見てほしい

内柴正人さん（柔道66キロ級）

小さいころからの夢、それがオリンピックです。しかし、一時は選手をやめようかと思ったこともあり、その目標も遠ざかっていました。それでも、結婚を機に、また柔道をがんばろうと思い直すことができ、努力の結果、アテネの切符を獲得することができました。現在は、心身ともにコンディションが良く、大会までの残りの期間でさらに調子を上げていけるものと思っています。僕の柔道は、技を見せるというより、気持ちで戦っていく面が強いので、アテネでは、なにがなんでも勝ちたいという気持ちが戦いぶりに表れているところに注目してほしいですね。

プロフィール

1978年6月17日生まれ。かつては60キロ級のホープとして活躍したが、'03年の全日本選抜体重別で減量に失敗して失格。五輪強化指定選手からも外されるなど、どん底を体験した。階級を66キロに上げて、見事カムバック。再び勝利を重ねるようになった。得意技は払い腰、巴投げ。段位は3段、組手は左、旭化成工業1所属。160センチ、66キロ。



Go for Athens 三鷹市 アテネ

いよいよ8月13日(金)からアテネ・オリンピックが開幕。

また、9月17日(金)からはパラリンピックが始まります。

今大会には、市内在住者をはじめ、三鷹市に関係する選手が数多く出場しますので、市民のみなさんの熱い声援をお願いします！

ホームページでも応援サイトを公開中！

HP<http://www.city.mitaka.tokyo.jp/>

パラリンピックに 2選手出場！

9月17日F 開幕のパラリンピックに三鷹から福原良英さん、櫻阿亜希子さんが出場します。お二人の記事は9月5日号広報みたかに掲載します。

オリンピックはみんなの 努力に対して与えられた機会

後藤春日さん(ソフトボール国際審判員)

今年で審判員の活動は20年になりますが、このたび与えられた機会は、今まで一緒に共通の目標に向かって積み上げてきた先輩や仲間たちみんなの努力全体に対していただいたものと思っています。そのことをオリンピックのあるなしにかかわらず、忘れずにいたい。そして、オリンピックの地にいられることに感謝と喜びをもって、責任を果たして帰ってきたいと思っています。試合では、選手たち同様、審判員もチームワークが大事です。国際試合では、ひとつの試合を、言葉も文化も違う審判員が力を合わせて進行していきます。私自身、日本の試合は担当しませんが、みなさんには日本チームのはつらつとしたプレーを通して、ソフトボールの魅力を満喫していただければと思います。

プロフィール

1963年10月25日、小金井市生まれ。'99年に仕事の関係で三鷹市へ。現在も市内在住・在勤。'02年に国際審判員の資格取得後、'02年8月にJAPAN CUP国際ソフトボール大会（神奈川県）'03年3月にアジア・オセアニア地区オリンピック予選（シドニー）'03年10月に世界女子ジュニアソフトボール選手権（南京）で審判を務める。



団体で、 そして個人で メダルを狙います！

塚原直也さん（体操男子）

アトランタ、シドニーに続いて今回が3度目のオリンピック出場で、自分がこれまで追求してきた強さを試す場としては、最高の大会だと思っています。オリンピックは私にとって特別な大会というより、むしろ身近な存在であるといえます。アテネでの目標は、まず団体で金メダルを取ること。現在のメンバーなら、それも決して不可能ではないと思います。自分の演技に磨きをかけ、ぜひともメダルを獲得したいですね。

また、体操選手として長く現役を続けていきたいと考えています。オリンピック4回出場というのが日本体操界の記録なので（ヘルシンキ大会～東京大会の小野喬氏）それを破る5回出場を達成できたらよいと思います。

プロフィール

1977年6月25日生まれ。父はミュンヘン五輪金メダリスト・塚原光男氏、母はメキシコ五輪女子体操団体4位の塚原（旧姓小田）千恵子氏。市内の明星学園小学校卒業。高校生でインターハイ2連覇。1996年の全日本選手権個人総合で、史上最年少（19歳）で優勝し、以後同選手権個人総合5連覇を達成。現在、朝日生命体操クラブで練習に励む。得意種目は平行棒。朝日生命所属。166センチ、63キロ。



精一杯の 演技をするので、 応援してください！

石坂真奈美さん（体操女子）

5月のNHK杯（兼五輪代表決定競技会）は、特にプレッシャーはなかったですが、アテネ行きが決まった瞬間はホッとしました。オリンピックということ、で、他の国際大会に比べて特別な気持ちはありません。ただ、最高の大会なので、世界の素晴らしい選手たちの演技を見てみたいですね。

調子の悪いときでも自分らしい演技ができることが大切です。今後も練習を重ねて、さらに安定して実力が発揮できるようにしていきたいです。

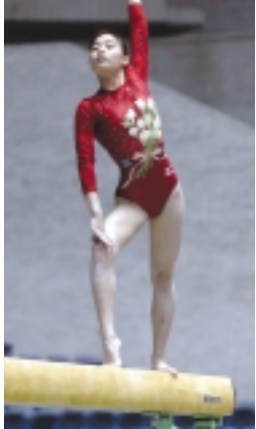
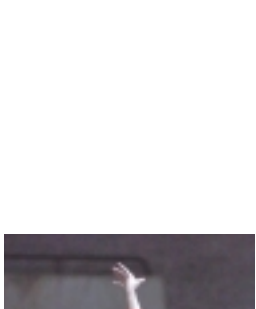
アテネでの演技を通じて、一人でも多くの人に体操に興味を持ってもらいたいと思います。とにかく自分の精一杯の演技をしますので、応援をよろしくお願いします。

プロフィール

1986年4月22日生まれ。物心つくころには、すでに体操を始めていた。'02年、全日本タイトルを獲得し、一気に注目を集める。'03年の全日本個人1位、NHK杯個人1位、'04年のNHK杯個人1位。国内では負けなしの日本のエース。得意種目は跳馬。市内在住で、現在、朝日生命体操クラブに所属、藤村女子高在学中。149.5センチ、38.8キロ。

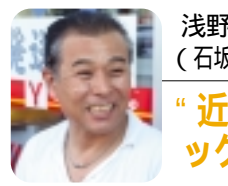


アテネでは、
笑顔忘れず
大きな演技をします



サポーター宣言

私たちも応援しています！



浅野良一さん
（石坂・大島選手の近所の酒店さん）
“近所の子”がオリンピックに出場する気持ち

塚原家とは長いおつきあいとなります。直也君は赤ちゃんのころからよく知っています。また、石坂選手や大島選手も顔なじみです。彼女たちは、クラブと学校との往復にうちの店の前を通りますが、しっかりあいさつしてくれます。私としては、“近所の子”がオリンピックに出場する気持ちですね。ケガに気を付けて実力を発揮してほしいと願っています。



富沢 隆さん
（内柴選手の大家さん）
赤ちゃんが生まれた内柴選手、がんばれ！

内柴選手一家が住む家の大家をしていて、お互いの愛犬が“夫婦”となって子犬を生んだこともあり、家族ぐるみでおつきあいを続けていただいています。内柴さんは明るく気取らない人で、サインを頼んでも「僕でいいんですか？」と答えるような謙虚な人柄。6月に長男の輝（ひかる）君が生まれたので、赤ちゃんのためにがんばってほしいですね。



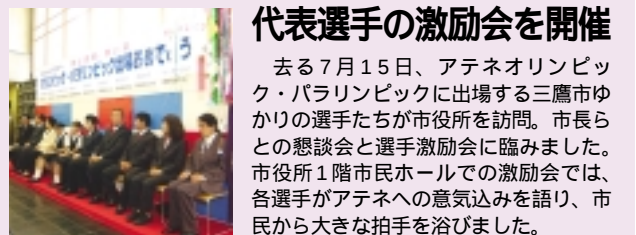
狩野舞子さん
（女子バレー全日本強化選手）
苦しいときの選手の
がんばりを見てください

オリンピックは目標です。5月のオリンピック最終予選ではチームと一緒に行動しましたが、いろいろと勉強になりました。この経験を生かして、次の北京オリンピックに出場できるようがんばりたいと思っています。

全日本女子チームには、オリンピックではとにかくがんばってほしい。テレビなどで観戦するみなさんには、チームが苦しい状況になったときの選手たちのがんばりを見てほしいと思います。

プロフィール

1988年7月15日、三鷹市生まれ。16歳。八王子実践高校1年。四小4年のときに、市内の大沢スポーツクラブでバレーボールを始める。5月に開催されたアテネ五輪最終予選では、15歳で代表候補に選出された。184センチ、65キロ。最高到達点303センチ。



代表選手の激励会を開催

去る7月15日、アテネオリンピック・パラリンピックに出場する三鷹市ゆかりの選手たちが市役所を訪問。市長らとの懇談会と選手激励会に臨みました。市役所1階市民ホールでの激励会では、各選手がアテネへの意気込みを語り、市民から大きな拍手を浴びました。



一戦一戦を大事に、 悔いの残らない大会にしたい

石川直宏さん（サッカー男子）



©F.C.TOKYO

アテネでは日本の代表として、自信を持ってプレーをしたいと思っています。これまで僕を支えてくれたチームメイト、スタッフ、家族そしてファンに感謝をしています。応援してくれるみなさんに喜んでもらえるよう、一戦一戦を大事に、悔いの残らない大会にしたいと思っています。

プロフィール

1981年5月12日生まれ。'00年横浜F・マリノスでデビュー。各年代の日本代表として活躍。'02年よりF C東京へ移籍。高速のドリブル突破に加えて右サイドでおりながら左足でもクロスやシュートを決められるキック力を備えたMF。五輪代表でも攻撃の切り札として欠かせない存在。175センチ、68キロ。

全力で取り組み、 精一杯戦います

今野泰幸さん
（サッカー男子）



©F.C.TOKYO

いい選手が大勢いる中で、競争して勝ったことが大きく、大変うれしいです。これからも全力で取り組み、絶対にスタメンで試合に出られるようにがんばります。ワールドユースで世界と戦う楽しさを知ったと同時に、やり残したこともあるので、精一杯戦いたいと思います。

プロフィール

1983年1月25日生まれ。東北高校時代、全国高校サッカー選手権で優秀選手に選出される。'01年高校卒業後サードレ札幌に入団。'03年ワールドユース日本代表となり、世界を相手に対等の戦いを見せる。'04年F C東京へ移籍。攻守のバランスに優れ、高いディフェンス能力を持つボランチとして五輪代表に欠かせない存在。178センチ、69キロ。

一番いい色のメダルを
取ってきます

茂庭昭幸さん（サッカー男子）